

報 告 書

開 催 日 時	平成27年1月15日(木) 19時00分～21時00分		
自治協議会名	三田地区住民自治協議会	開 催 場 所	三田地区市民センター
出 席 議 員	上田宗久、福田香織、田山宏弥、安本美栄子		
	司会者	田山宏弥	記録者 福田香織 報告者 安本美栄子
参 加 人 数	14 名		

【主な意見・提言等】

- ・伊賀市の北の玄関口である伊賀上野駅周辺でのイベント開催等、北部地区の活性化に取り組んでほしい。
- ・伊賀上野駅前のゲートボール場（県の所有と思われる。）の管理について、高砂地区で草刈等を行っているが、しかるべきところで適正管理をしてほしい。
- ・駅前の建物や東三田の市営住宅の空き家対策について、衛生面、防災、防犯面からの適切な行政指導を強く求める。
- ・都市計画はまちづくりの根幹であるので、早急に土地利用の方針を決めて、まちづくりに取り組んでほしい。
- ・農地のほとんどが市街化区域で、平均的な所有面積50aあたりの固定資産税が8万円負担になる。もっと農業政策に力を入れてほしい。
- ・まちなかの下水整備が進んでいないため、若者の流出、空き家の増加が進んでいる。下水道整備等、必要な政策を絞り込んで取り組んでほしい。
- ・国道422号線について、三田坂バイパス開通後の不法投棄対策を求める。
- ・名神・名阪連絡道路の進捗状況が知りたい。（後日報告）
- ・消防団員が高齢化、なり手不足が深刻である。
- ・地区内の企業と地域との防災協定締結に向けたサポートを望む。
- ・一昨年の台風被害後、行政から地区への聞き取りが一切ない。住民の安全は、そっちのけではないのか。

伊賀市議会議長 様

平成27年1月27日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成26年度議会報告会4班

班長 上田 宗久

報 告 書 (別紙)

開 催 日 時	平成27年1月15日 (木)	議会報告会 4 班
自治協議会名	三田地区住民自治協議会	
【主な意見・提言等】 「議会報告会のあり方」について		
<ul style="list-style-type: none">・議会報告は広報や市議会だよりを見ればわかるので、意見交換をして、地域の意見を吸い上げて欲しい。・行政との意見交換会の場も設定してほしい。		
【主な意見・提言等】 「南庁舎の今後」について		
<ul style="list-style-type: none">・昨夜急遽、南庁舎利活用についての説明会があったが、地区の行事と重なった。なぜ急に開催されたのか。・補正予算のうち、南庁舎利活用の債務負担行為が議会で削除されたが、その中身について意志統一出来ているのか。・残すか壊すかを住民投票したらどうか。・上物の話ばかりで、中身の議論がなされていない。議会と上手くいかずに、市民に投げかけてきたのではないか。市民不在に思える。・南庁舎保存のために坂倉建築を宣伝しているが、崇廣中や西小も壊したのだから、公園のレストハウスのみ残せばよいではないか。図書館として建てられたものではないので、改修は難しいのではないか。図書館で賑わいの創出は難しいと思う。図書館は現在の場所で整備し、丸之内には大垣のような観光客を呼べる芭蕉記念館を建てるべきである。・図書館では観光の集積地にはならないので、忍者と芭蕉で人を呼ぶべき。・武雄市図書館の来客数は年間100万人と聞いている。楽しめる図書館にすれば、近隣都市からも1時間程度で来れるので、人を呼べると思う。・市役所東側の三階建て建物は、明治時代には図書館だった。街道には南庁舎を含む5つの歴史建築がある。議会で文化的な委員会を立ち上げて、それらをどう生かすか議論してはどうか。・中心市街地活性化のために、裁判所の移転は可能か。・観光客を呼ぶには、バス駐車場の整備とお土産を買えるところが必要。・芭蕉翁顕彰会の会員も市職員始め減っているようであるが、生誕地として地元がもっと熱意を持つべき。・子ども大人も楽しめるように、顕彰会の役員比率を見直すなど、現代俳句ではなく、もっと芭蕉顕彰に力を入れてほしい。		